

【様式 01】 高大連携公開授業シラバス

* 科目 No.

01108

1. 開設大学	エリザベト音楽大学	開講場所 (キャンパス・施設)	幟町キャンパス
2. 科目名	西洋音楽史Ⅱ		
	学問分野	番 号	15 名 称 人文科学系 芸術
3. 担当教員	桂 政子 音楽学部 教授		
4. 開講学期	後期		
5. 開講期間 (曜日) 開講時間	平成 31 年 9 月 28 日 (土) ~ 平成 32 年 1 月 25 日 (土) 8 時 50 分 ~ 10 時 45 分		
個別開講日	1 回目 9/28	2 回目 10/5	3 回目 10/12
	4 回目 10/26	5 回目 11/9	6 回目 11/16
	7 回目 11/23	8 回目 11/30	9 回目 12/14
	10 回目 12/21	11 回目 1/11	12 回目 1/18
	試験日 1/25	14 回目 /	15 回目 /
	16 回目 /		
6. 募集定員	10 人 (総授業定員 70 人)		
7. 科目内容・ 授業計画	歌曲、オペラなどの声楽作品に焦点を絞り、その起源から現代までの流れを把握しつつ、CD、DVD を活用しなるべく多くの作品を鑑賞する。音楽史のみに留まらず、文学におけるロマン主義のオペラへの影響、社会情勢との関わりやオペラ劇場の構造など、多面的に考察する。 ①②リートの歴史、(グルック、ハイドン、モーツァルト、シューベルト、シューマン) ③オペラ、その概略、ドイツオペラの流れ(ベートーヴェン、ジグムンド・シュニッツァー) ④フランスオペラの流れ(グラント・ペラ、ビゼー、オペラブフ、叙情オペラ、ベルリオーズ) ⑤19世紀のイタリアオペラ(ロッシーニ、ドニゼッティ、ベッリーニ) ⑥イタリア民族主義(ヴェルディ、プッチーニ) ⑦ヴェリズモ・オペラ(マスカーニ、レオンカヴァッロ) ⑧19世紀のドイツオペラ(ウェーバー、ワーグナー) オペラハウスの構造 ⑨19世紀半ば以降のドイツオペラ(メルヘンオペラ、文学オペラ、管弦楽付きリート、オペレッタ) ⑩19世紀半ば以降のフランスオペラと歌曲(サン・サーンス、マスネ、ドビュッシ) ⑪ロシアと東欧における民族主義 ⑫20世紀のオペラ(シェーンベルグ) 日本のオペラ史		
8. 受講料	無料		
9. 別途負担費用	(テキスト代・実習料等) なし		
10. 学習記録	交付する		交付しない
11. 科目等履修生	受け入れる		受け入れない
	単位数	2 単位	
	受入学年	高校 2 年生以上 (二次募集時 1 年生)	
	試験・評価	定期試験とレポート 秀 100-90) 優 (89-80) 良 (79-70) 可 (69-60) 不可 (59-0)	
	特記事項		
12. 開講条件※1 あり・ない	① 最少開講人数 (3 人) ② 不開講通知日 (7月17日(金)以前の開講科目は3月末まで/7月18日(土)以降の開講科目は6月末まで)		
13. その他特記事項	受講者についての制限事項、事前に予習しておく資料・文献など特記すべきこと 教室は 506 号室の予定。11/23 は授業あり。		
14. 開設大学への 交通手段	http://www.enica.jp/ から開設大学のホームページにジャンプして確認してください。		

※1 申込時点で原則、受講できます。ただし、開講条件で不許可・不開講があった場合は受講申込者へ通知します。